

事業群評価調書(令和4年度実施)

| | | | | |
|-------|--------------------------------|----------------|---|-------|
| 基本戦略名 | 3-2 地域の特徴や資源を活かし、夢や希望の持てるまちを創る | 事業群主管所属・課(室)長名 | 地域振興部 新幹線対策課 | 峰松 茂泰 |
| 施策名 | 2 九州新幹線西九州ルートの整備と開業効果の拡大 | 事業群関係課(室) | 観光振興課 | |
| 事業群名 | ② 新幹線開業に向けたアクションプランの推進 | 令和3年度事業費(千円) | ※下記「2. 令和3年度取組実績」の事業費(R3実績)の合計額 108,747 | |

1. 計画等概要

| | | | | | | | | | | |
|--|----------------------------------|---|-----|---------|---------|---------|---------|--------------|-----------|--|
| (長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文) | | (取組項目) | | | | | | | | |
| <p>令和4年秋の九州新幹線西九州ルート(武雄温泉～長崎)の開業に向けて、その効果を県内各地へ波及・拡大させるため、①県民の気運醸成、②誘客促進、③県内各地への周遊促進、④来訪者の満足度向上、⑤産業の振興の5つの方向性に沿って、幅広い分野にわたる項目に官民一体となって取り組んでいきます。併せて開業時期や対面乗換の方法など、開業に係る情報発信を強化し、県民の理解を深めていきます。</p> | | <p>i) 新幹線開業対策事業の実施 ii) JRデスティネーションキャンペーン推進事業の実施</p> | | | | | | | | |
| 事業群 | 指標 | 基準年 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | 最終目標(年度) | (進捗状況の分析) | |
| | JRIによる府県相互間旅客輸送人員(関西・中国・福岡県～長崎県) | 目標値① | — | 基準値+15% | 基準値+15% | 基準値+15% | 基準値+15% | 基準値+15% (R7) | | <p>県民の認知度(開業年度)については、県民の気運醸成に向けた各種事業を実施した結果、令和3年度の目標を達成する等、進捗状況は順調である。 JRIによる府県相互間旅客輸送人員(関西・中国・福岡県～長崎県)については、目標達成に向けて、官民一体となってアクションプランを推進していく。</p> |
| | 実績値② | 算定中 (R3) | 算定中 | | | | | 進捗状況 | | |
| 達成率②/① | — | | | | | | — | | | |

2. 令和3年度取組実績(令和4年度新規・補正事業は参考記載)

| 取組項目 | 中核事業 | 事業番号 | 事務事業名 | 事業費(単位:千円) | | | 事業概要 | 指標(上段:活動指標、下段:成果指標) | | | 令和3年度事業の成果等 | |
|-------|------|------|------------|------------|--------|---------|--|---------------------|------|------|-------------|-----|
| | | | | R2実績 | うち一般財源 | 人件費(参考) | | 主な指標 | R2目標 | R2実績 | | 達成率 |
| 取組項目1 | ○ | 1 | 新幹線開業対策事業費 | 17,659 | 17,459 | 15,648 | <p>令和3年度事業の実施状況(令和4年度新規・補正事業は事業内容)</p> <p>令和3年度事業の実施状況(令和4年度新規・補正事業は事業内容)</p> <p>開業1年前イベントやレールウォークの開催、開業PR動画の作成等を通じて、県民の気運醸成を図った。併せて、県外への開業PR及び誘客促進のため、メインターゲットエリアと考えられる関西・中国圏等における広報プロモーション事業を実施した。また、民間団体等による取組を促進するため、市町との協調補助による支援を行い、佐世保市や小値賀町といった沿線市外の地域でも取組が進んだほか、経済団体青年部主体の開業準備実行委員会によるおもてなし等の準備も進んでいる。さらに、県内各地への周遊のための交通対策として、予約制乗合タクシーによる実証運行及びフリーきっぷの実証販売を実施した。</p> | 【活動指標】 | 10 | 10 | 100% | |
| | | | | 83,747 | 41,200 | 15,580 | | 【活動指標】 | 10 | 12 | 120% | |
| | | | | 191,253 | 0 | 23,043 | | 【活動指標】 | 5 | 6 | 120% | |
| | | | | — | — | — | | 【成果指標】 | 8 | | | |
| | | | R2-4 | | | | 【成果指標】 | 基準値+15% | | | | |
| | | | 新幹線対策課 | — | — | — | 県、市町、民間企業等 | 【成果指標】 | 65 | 64 | 98% | |
| | | | | | | | | 【成果指標】 | 75 | 80 | 106% | |
| | | | | | | | | 【成果指標】 | 90 | | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|------------|---|---|--------------------------------|--------|--------|-------|--|--|----|----|------|--|
| 取組項目 ii | ○ | 2 | JR destinations キャンペーン推進事業費 | | | | 誘客宣伝対策事業(佐賀県共同事業)として、旅行会社等を対象とした「全国宣伝販売促進会議」の開催、令和3年10月から令和4年3月までの6ヶ月間にJR九州とタイアップしたプロモーションなどを実施した。受入環境整備事業(佐賀県共同事業)として、佐賀・長崎 destinations キャンペーン の公式WEBサイトの開設、観光事業者等と連携した「シュガーロードPASS」の制作などを実施した。 また、長崎県単独事業としては、既存の観光コンテンツや地域の魅力の再検証、新たな素材の発掘・磨き上げ、着地型旅行商品の造成などに取り組んだ。 | 【活動指標】 全国販売宣伝促進会議及びエクスカージョン実施(回) | 1 | 1 | 100% | ●事業の成果 ・佐賀長崎両県ルート及び長崎県ルートの5ルートに64名が参加。参加者からは、いずれのコースも長崎の歴史・文化・グルメ・景観など視察先のバランスに配慮し、また新たな素材も多く盛り込まれるなど充実した内容であったと概ね高評価をいただき、目標を達成することができた。 ●事業群の目標達成への寄与 ・全国宣伝販売促進会議等の令和3年度事業により、各旅行会社のDCに向けた旅行商品造成の意欲を向上させることができた。来年度の送客拡大に繋がれば、事業群の目標達成に寄与することになる。 |
| | | | | 25,000 | 12,500 | 7,790 | | 【活動指標】 ガイドブック作成(冊) | 1 | | | |
| | | | | 25,000 | 12,500 | 7,681 | | 【成果指標】 エクスカージョン参加者の旅行商品造成意向(%) | 80 | 84 | 105% | |
| | | | | R3-4 | | | | 【成果指標】 主要宿泊施設の延べ宿泊者数対R元年同期比増加率(外国人除く、10-12月)(%) | 3 | | | |
| | | | 観光振興課 | — | — | — | 交通事業者、旅行会社等 | | | | | |

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

| | | | |
|----|-------------------------------|--|---|
| i | 新幹線開業対策事業の実施 | <p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開業1年前イベントやレールウォークの開催、県内各地域のイベント等における新幹線開業PRに加え、県内各地域の開業PR動画を作成した。こうした取組の結果、開業年度に関する県民の認知度が64%から80%に上昇したことから、引き続き認知度向上のための取組を強化していく。 ・誘客のメインターゲットと考えられる関西・中国圏等における広報プロモーション事業を実施し、開業PRを通じて誘客促進を図った。 ・沿線市外も含め、受入体制の構築に向けた県内各地域の取組を市町との協調補助により支援した(5件)ほか、開業準備実行委員会による観光列車への手振り・旗振りなど、おもてなしの準備が進んだ。 ・新幹線駅からの周遊促進のための予約制乗合タクシーによる実証運行及びフリーきっぷの実証販売を実施し、新型コロナウイルス感染症の影響等があったものの、フリーきっぷのニーズについては一定確認ができたため、民間主導により本格実施の動きにつなげる必要がある。 | <p>●課題解決に向けた方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開業に向けた認知度向上のため、開業100日前イベントや新幹線試乗会の開催、TVCM、新聞広告、SNS等の各種媒体を活用した情報発信により、更なる気運醸成を図る。 ・県外からの誘客促進のため、開業直前期に関西・中国圏等において広報プロモーション事業を実施する。内容は観光や物産等の関係部局、各市町等と連携し、長崎県の魅力を訴求するものとする。 ・引き続き市町との協調補助による民間団体等の取組を支援するとともに、開業準備実行委員会による開業日当日のイベント開催や来県された方へのおもてなし等の取組について準備を進めていく。 ・一定ニーズが確認できたフリーきっぷについて、開業に合わせた本格実施に向けて、関係事業者等と調整を行う。 |
| ii | JR destinations キャンペーン推進事業の実施 | <p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR destinations キャンペーンについては、11月に全国宣伝販売促進会議を開催し、全国の旅行会社等の関係者約250名を招き各地域の魅力やPRするとともに、エクスカージョンの実施により、DC期間中や継続的な旅行商品の更なる造成を促した。 さらに、令和3年10月から6ヶ月間をDCプレキャンペーン期間として、九州域内を中心としたプロモーション活動を実施するとともに、JR九州のイベント等とも連動し、県内各地への誘客促進を図った。 令和4年度のキャンペーン本番に向けて、更なる誘客促進及び受入体制整備に取り組む必要がある。 | <p>●課題解決に向けた方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR destinations キャンペーンについては、市町や観光振興団体、観光関係事業者と連携し、誘客宣伝活動や受入環境の整備を行うとともに、西九州新幹線の開業に向けた県・市町のアクションプランに基づく施策とも連動しながら、令和4年10月から開催する佐賀・長崎 destinations キャンペーンを着実に推進する。 |

4. 令和4年度見直し内容及び令和5年度実施に向けた方向性

| 取組項目 | 中核事業 | 事業番号 | 令和4年度事業の実施にあたり見直した内容 | | 令和5年度事業の実施に向けた方向性 | | |
|---------|------|------|------------------------|--|-------------------|--|-------|
| | | | 事務事業名 | ※令和4年度の新たな取組は「R4新規」等と、見直しがしない場合は「—」と記載 | 事業構築の視点 | 見直しの方向 | 見直し区分 |
| | | | 事業期間 所管課(室)名 | | | | |
| 取組項目 i | ○ | 1 | 新幹線開業対策事業費 | 令和4年度はいよいよ開業年度となり、アクションプランに沿って気運醸成、誘客促進、周遊促進、満足度向上等のための取組を着実に推進し、新幹線で来られるお客様をお迎えする最終的な準備を整えていく。 | ⑩ | 開業により、本事業は終了となるが、新幹線の利用促進や二次交通対策等、開業後も引き続き取り組むべき事業については、新幹線・鉄道整備促進事業において継続する。 | 終了 |
| | | | R2-4 | | | | |
| | | | 新幹線対策課 | | | | |
| 取組項目 ii | ○ | 2 | JRデスティネーションキャンペーン推進事業費 | 旅行会社への営業活動や公式ガイドブック制作等による誘客促進に加え、訪れる観光客に満足度の高い旅行サービスを提供しリピーターとなるよう受入体制の整備に取り組む等、キャンペーン本番に向け準備を進めていく。 | ⑩ | 本事業は本年度で終了するが、本キャンペーンを一過性の観光キャンペーンにとどめることなく、新幹線開業効果を最大限に高め、これを沿線地域だけでなく、県内各地へ波及・拡大させ、その持続的な発展につなげるよう令和4年度事業に取り組んでいく。 | 終了 |
| | | | R3-4 | | | | |
| | | | 観光振興課 | | | | |

注:「2. 令和3年度取組実績」に記載している事業のうち、令和3年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点